

ニューズレター 経済教育学会

2011. APR. No.15

会長就任のご挨拶・・・1 春季研究集会のご報告・・・2～3 拡大理事会議事録・・・4 第27回全国大会のご案内・・・5～7
経済教育情報クリップ・・・7 会費納入のお願い・・・8

新会長に中谷武雄先生が選出されました。新会長のご挨拶を掲載します。

【会長就任のご挨拶】

経済教育学会 会長 中谷武雄

3月29日の拡大理事会にて、会長を岩田年浩先生から引き継ぐことになりました。昨年の全国大会の主催校として実行委員会にかかわって以来の流れの中で、微力ではありますが、学会の発展のために努力させていただきます。よろしくお願いいたします。

3月11日の東日本大震災で尊い命を奪われた方のご冥福をお祈りするとともに、被害にあわれた方にお見舞い申し上げます。災害に対する備えのあり方と復興問題、またエネルギー問題や原子力発電所の安全性など、多くの新しい、根本的な課題が出現し、解決に向けた新しい視点と手法を改革した研究の必要性が、あらゆる分野で問われています。経済教育の分野でも、こうした社会的な課題から目を放さずに学会活動を展開することが求められていると考えています。

学会の改革問題がすでに提議され、「学会改革チーム」が選出されて、活動が始まっています。従来からの経済不況とそのもとの就職状況の悪化問題に加えて、震災後のケアと復興問題の出現は、経済教育にも深刻な問題を投げかけています。学会活動も新しい段階に入ると思います。学会活動を活性化する中で、こうした課題に取り組みたいものです。

3月末で京都橘大学を退職いたしました。自由時間が増えた分、時間を割いて皆さんとともに頑張りたいと思っています。今年の全国大会が盛り多いものになることを願っています。



【今後の学会スケジュール】

2011年5月20日(金) 『経済教育』第30号 原稿締切 (震災の影響で締切を延期しました)

2011年10月1日(土)・2日(日) 第27回全国大会 相山女学園大学(名古屋市)

2011年9月30日(金)はエクスカージョンとしてトヨタ自動車の工場とトヨタ会館の見学

※全国大会の研究報告を募集します(2011年6月30日(木)締切)。詳しくはそれぞれの記事をご覧ください。

【2011年3月28日・29日 春季研究集会・拡大理事会のご報告】

春季研究集会実行委員長 新里泰孝（富山大学）

2011年の春季研究集会・拡大理事会は3月28日（月）・29日（火）、富山市呉羽山にある呉羽ハイツにて行われました。晴天に恵まれ、立山連峰と富山湾を一望することが出来ました。3月11日の東日本大震災の影響でキャンセルが数件ありましたが、岩手からの参加もあり、参加者は27名と盛況でした。プログラムは以下の通りです。計8本の報告がありました。拡大理事会は15名（うち理事11名）の出席がありました。議論が白熱し、20分ほど延長して閉会となりました。

1日目 3月28日（月）	
時間	プログラム
13:40	受付開始
14:00	開会
14:00-15:20	研究集会1（共通テーマ：学生主体の経済教育）
	(1)大坂洋（富山大学）+学生：田辺李香・高田康江・泉智彦/「インナー大会」への富山大学における取り組み (2)長谷川博（富山高等専門学校）/若手後継者育成事業「学店」への富山高専における取り組み
15:30-17:30	研究集会2（自由論題）
	(3)番場博之（駒澤大学）/高等学校における商業教育の現状と問題 (4)中里弘穂（福井県立大学経済学部）/大学におけるキャリア教育科目の導入と経済学部での取り組み (5)水野勝之・鍵山義尚・福岡英典（明治大学）/新しいキャリア教育の在り方について
17:30-19:00	入浴・夕食
19:00-20:20	研究集会3（自由論題）
	(6)市川文彦（関西学院大学経済学部）/日露大学生交流の11年間：両国経済・社会への相互認識を巡って (7)藤岡惇（立命館大学経済学部）/平和な「エコエコノミー」の創造と不況克服策を学生とともに探る
20:20-21:00	研究集会4（共通テーマ：学生主体の経済教育）
	(8)新里泰孝（富山大学）・横田数弘（富山高等専門学校）/「富山アクションプラン」の提起
2日目 3月29日（火）	
9:00-12:00	拡大理事会
	議題（予定）：（1）第27回全国大会（2）学会改革（3）学会30周年記念事業・企画 （4）会長選出（5）その他
12:00	閉会

研修集会1（司会：横田数弘）の第1報告（大坂）では「インナー大会」の運営に携わった富山大学経済ゼミナール協議会の学生3名（4年生と3年生）による活動報告も行われた。協議会の組織化、大会運営、研究発表、学生研究論文集『ESTUDIO』の復刊など試行錯誤しつつも積極的に行動してきた学生達の姿は実に凛々しく、頼もしく感じた。運営経費が指導教員の研究費の「持ち出し」や同窓会の援助に頼っていることなど、改善を要する事柄についても整理・分析され、何をなすべきかが明示されていた。

第2報告(長谷川)の「学店」とは富山商工会議所青年部の主催事業であり、商品の企画開発を通じて疑似起業を生徒・学生に体験させる取り組みである。富山高専では同好会を立ち上げ、複数学年のさまざまな学科の学生達が参画できるよう、組織化をはかっている。協力企業に企画を持ちかけ、交渉するのも生徒・学生自身である。手厳しく対応されたり断られたりするなど失敗することもあるようだが、それが良いのである。学校に拠点を置きつつ、学校外で「自分達の手で困難を解決すること」の意義は大きい。

研究集会2(司会:竹田達矢)の第3報告(番場)では、商業高校、商業教育について、生徒数の減少による衰退傾向や卒業者の大学進学率の上昇などの経緯と現状が報告された。会場からは、大学卒業生においても就職が難しくなっている状況の下、シンガポール等の海外における実情をもとに学生へのスキル提供による生き残り策と職業訓練の重要性への認識が示された。

第4報告(中里)では保護者の大学選択基準が「どこの大学を出たか」よりも「大学を出てからの就職状況はどうか」へ変化し、就業力の養成が大学の評価を左右するようになってきていることなどから、大学においてキャリア教育が重視されていることや、正課教育科目として開講されているキャリア教育科目のシラバスの調査結果が報告された。調査では学生の学力レベルによるキャリア教育の内容の差異が示されたが、学力レベルでの分類は衝撃が強く、会場からは入学以降の学生のレベルアップも考慮すべきとの意見も出された。

第5報告(水野)では、明治大学でのキャリア教育における問題点とその改善への取り組みが紹介され、キャリア教育の新しい姿として、「付加価値」創造力を形成すべきという新しいコンセプトのもとに、教室内ではアサーションやPBL型の実践、教室外では大学連携の必要性が示された。また、学生が首都圏や大企業を指向する傾向が強いことをキャリア教育の失敗とし、中小企業へ目を向けさせる必要があることが強調された。

研究集会3(司会:大坂洋)の第6報告(市川)は、2001年より毎年行われてきた、富山大学・関西学院両大学の学生のロシア国立海洋大学への短期研修の経緯と近年の研修の実情の報告である。日露の学生間のコミュニケーションの様子や参加した学生のロシア社会認識の変化など、具体的な学生の反応が紹介された。

第7報告(藤岡)はきわめて独創的な授業実践の報告である。報告された授業の中心のテーマは経済を自然、イノチ、文化、社会と再び結びつけることであり、答えを与えるのではなく、学生自身に考えさせる授業のあり方が紹介された。

研究集会4(司会:長谷川博)では共通テーマに戻り、第1セッションでの2つの実践報告を踏まえた共同報告が行われた。新里会員は今回の実践報告の意義に加え、これまでの大学改革の推移(組織改革と教育改革)を簡単に振り返り、さらに最近のFDにおける「学生主体」の取り組みをピックアップして報告した。「学生主体の経済教育」のための課題として、担当授業においては、むしろ教師が主体的に企画し、丁寧に教え、教師自身が楽しく満足ゆく授業を行うことが、学生にとっても主体的な授業参加を促し、満足度の高いものとなると提言した。横田会員は、学生主体の授業は教師の手間はかかるが、学生の自由度を高めて開放感をもたせること、しかし、全面的に開放せず、お釈迦様の手の上で自由に動かすようなイメージで学生ががんばらざるを得ないような仕組みをつくることに留意して実践していることを報告した。3学生が発言し、単位以外での評価は刺激になる、先生方の飲ませたい水は何なのかを意識したい、先生方が近づいてくれていることがわかったので、学生からも近づいて一緒に作ってあげれば望ましいし、そのことをもっと伝えて欲しいとコメントした。

最後に、今後の「学生主体の経済教育を目指す富山アクションプラン」の課題と方向として、効率よく教え込むだけでなく、学生がよりよく生きることを目指して、先輩の意見を伺って次の世代につなげていくことが大事である。具体的には、橋本勝会員の富山大学着任を機会に、岡山大学の教育改善システム(学生参加型授業=橋本メソッド)に学び、富山地域の会員が連携し学生と一緒に実践しようという申し合わせが行われた。



【2011 年年度 拡大理事会議事録】

日時：2011年3月29日(火) 9時00分から12時20分

場所：呉羽ハイツ(富山県富山市)

出席者：浅野忠克、岩田年浩、宇佐見義尚、大坂洋、中谷武雄、新里泰孝、橋本勝、長谷川義和、藤岡惇、水野英雄、山根栄次(以上、理事11名)、市川文彦、竹田達矢、福岡英典、横田数弘(以上、会員4名)

I 審議事項

1. 会長、事務局長について

会長の岩田年浩氏(関西大学)が任期延長期間の終了に伴い退任し、新会長に中谷武雄氏(京都橋大学)を選任した。事務局長については引き続き水野英雄氏(愛知教育大学)を選任した。

2. 第28回全国大会及び今後の全国大会の開催予定について

第28回全国大会は明治大学に依頼することが承認され、明治大学から承諾の意思表示があった。また、第29回・第30回全国大会については滋賀大学などが候補に挙がり、今後の候補大学も含め検討していくということが承認された。

3. 春季研究集会について

2012年3月の春季研究集会はキャンパスプラザ京都(京都市)にて、日程は一日で終了するように検討していくことが、審議の結果、承認された。

4. 第27回全国大会について

第27回全国大会を2011年10月1日(土)・2日(日)(エクスカーションは9月30日(金))、テーマを「今こそ生きる力を育む経済教育をー震災を乗り越えてー」として椋山女学園大学(名古屋市中区)にて開催することとした。詳細については第27回全国大会実行委員会を設置し、検討することとした。

尚、第27回全国大会実行委員会の委員は以下の通りとする。角本伸晃氏(椋山女学園大学)、ステューブン・クアシャ氏(椋山女学園大学)、ロバート・ジー氏(椋山女学園大学)、伊藤薫氏(岐阜聖徳学園大学)、宮原悟氏(名古屋女子大学)、山根栄次氏(三重大)、水野英雄氏(愛知教育大学)

5. 理事の補充について

全国大会関係の理事の増員として、伊藤薫氏(岐阜聖徳学園大学)、宮原悟氏(名古屋女子大学)、水野勝之氏(明治大学)を選任した。会則改正による理事の増員については引き続き検討することとした。

6. 学会誌『経済教育』第30号の発行について

震災の影響により執筆が困難な方がいることに配慮して、2011年4月20日の『経済教育』第30号の投稿締切日を2011年5月20日まで延期した。そのため編集の状況によっては第27回全国大会の後の発行となるが、可能な限り第27回全国大会の前に発行することとした。

尚、学会誌編集委員として新たに田中淳氏(東京都立産業

技術高等専門学校)が提案され、承認された。

7. ニュースレター第15号の発行について

ニュースレター第15号を2011年4月10日頃に発行し、2011年4月下旬頃までに会員に配布することとした。

8. 学会ホームページについて

現在の学会のホームページは国立情報学研究所の「学協会情報発信サービス」を利用しているが、学協会情報発信サービスが2012年3月31日をもって終了するため、さくらインターネットにて新たに運営することとした。

9. 理事選挙と会則改正について

2012年度は理事選挙の年度となるため、選挙管理委員会の設置の準備と選挙の実施方法(選挙権の確定時期を4月とすること、葉書による投票)の検討を行うこととした。

10. 学会創立30周年記念事業について

担当者として新たに岩田年浩氏を選任した。藤岡惇氏(立命館大学)を中心にさらに担当者の人選と事業内容の検討を進めることとした。

11. 第26回全国大会会計報告について

第26回全国大会実行委員長の中谷武雄氏(京都橋大学)より第26回全国大会の会計報告が行われ、開催校の尽力により経費節減のもとで開催できたことが報告された。

12. 学会改革について

宇佐見義尚氏(亜細亜大学)より、学会改革チームの現在の検討状況として①会長選出方法、②学会賞創設について検討中であることが報告された。また、学会改革チームメンバーとして、岩田年浩氏に替わって新会長となる中谷武雄氏と事務局長である水野英雄氏を新たに選任した。

13. 事務局作成のメルマガジン(以下メルマガ)配信について

事務局が作成して学会業務委託先より配信しているメルマガは、学会のメルマガとして理事会によってオーソライズすることが、審議の結果、承認された。

II 報告事項

1. 会員名簿の発行について

2010年12月に学会員名簿の発行を行った。

2. ニュースレター第14号の発行について

2010年12月にニュースレター第14号の発行を行った。

3. 学会誌『経済教育』第29号の電子化について

2011年2月に『経済教育』第29号の電子化を行った。

4. 2011年度会費徴収について

現在の会費納入状況の報告と2011年4月に未納者へ再度の納付依頼を行うことが報告された。

5. 次回理事会について

2011年7月18日(月・祝)に、名古屋市内にて行うこととした。

【第 27 回全国大会のご案内】

第 27 回全国大会実行委員長 水野英雄（愛知教育大学）

東日本大震災により被災された方に心よりお見舞い申し上げますと共に、亡くなられた方に衷心よりお悔やみ申し上げます。震災による混乱が続く中ではありますが、経済教育学会の第 27 回全国大会を、2011 年 10 月 1 日（土）・2 日（日）に、椋山女学園大学にて開催させていただきます。テーマは「今こそ生きる力を育む経済教育を一震災を乗り越えて」とし、1 日（土）はシンポジウムを開催し、基調講演やパネルディスカッションを行います。

人生を生きていく上で経済的な問題は避けて通れない問題です。2011 年 3 月 11 日に東日本大震災が発生して多くの方が被災されました。震災では人的な被害と共に経済的に大きな混乱が起こり、その混乱は東北地方だけでなく全国的に広がり、現在も続いております。このように様々な影響を及ぼす経済的な問題に対処するためには経済的知識の教育が必須であり、21 世紀を担う子どもたちに学校教育の中で経済的知識を身につけさせることは重要な課題です。そのため、経済を理解し、経済的知識を生きていく上で役立つ能力を児童・生徒、学生に身につけさせることが学習指導要領における「生きる力」としての「確かな学力」を育むことにつながります。

今回の全国大会はテーマを「今こそ生きる力を育む経済教育を一震災を乗り越えて」とし、「生きる力」としての経済的知識の教育の内容や方法についての「経済教育スタンダード」の確立を目指し、その普及のための方策を考えていきます。

また、ものづくりの盛んな愛知県で開催することから、その特徴を活かして 9 月 30 日（金）にエクスカージョン（視察旅行）としてトヨタ自動車の見学会を行います。経済学は理論が中心であるため、理論と現実の整合性を持って学ぶ方法を開発することが求められています。経済学と産業との関係を知り、それを教育に活かす方向について検討することは新たな取組として期待できます。

シンポジウムを受けて、2 日（日）は午前・午後に分科会を開催します。分科会での報告は 6 ページの要領で募集します。多くの方にご報告頂けますよう、よろしくお願い致します。

経済教育学会の事務処理は CANPAN ACNet に委託しております。学会報告や参加の申し込みは、6 ページの要領で経済教育学会のホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/eoedu/> からご入力下さい。

充実した全国大会となるように精一杯の努力をさせていただきます。多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

記

日時：2011 年 10 月 1 日（土）・2 日（日）（9 月 30 日（金） エクスカージョン）

会場：椋山女学園大学 星が丘キャンパス（現代マネジメント学部）

参加費：大会参加費は無料。懇親会に参加の方は 3,000 円。昼食をご希望の方は 800 円。

お問い合わせ先：

全国大会での報告、参加の申し込み

経済教育学会のホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/eoedu/> より

郵送等の場合は、7 ページの「全国大会への〈報告のご希望〉 ならびに〈参加の申し込み〉についてのお願い」枠中に記された CANPAN ACNet へご連絡下さい。

全国大会の運営に関するご質問等

経済教育学会事務局 愛知教育大学 水野英雄研究室

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 TEL・FAX 0566-26-2507 hmizuno@auecc.aichi-edu.ac.jp

ご注意とお願い 全国大会に関する実務は経済教育学会の事務局と学会業務の委託先の CANPAN ACNet にて行います。椋山女学園大学には会場をご提供頂いておりますので、お問い合わせは上記までお願い致します。

会場：椋山女学園大学 星が丘キャンパス

〒464-8662 名古屋市千種区星が丘元町 17 番 3 号 Tel:052-781-1186(代表) Fax:052-781-8831

ホームページ <http://www.sugiyama-u.ac.jp/>

会場アクセス：JR 名古屋駅より、名古屋市営地下鉄東山線「星ヶ丘」駅下車 6 番出口より徒歩 5 分

プログラム(暫定)

2011年9月30日(金)

午後:エクスカーション(企業見学会) トヨタ自動車工場・トヨタ会館の見学
名古屋駅またはトヨタ自動車の工場の最寄駅に集合し、バスにて工場へ移動します。

2011年10月1日(土)

午前:理事会

午後:シンポジウム「今こそ生きる力を育む経済教育を一震災を乗り越えて」 基調講演・パネルディスカッション
シンポジウム終了後:総会、懇親会(予定)

2011年10月2日(日)

午前:分科会報告 昼:理事会 午後:分科会報告

開催予定の分科会

・大学・短期大学における経済教育 ・中学校・高等学校における経済教育 ・諸外国における経済教育
・キャリア教育 ・起業家教育 ・教員養成における経済教育 ・経済教育学会の30年を振り返って ・その他

<プログラムの詳細について>

2011年9月上旬にプログラム等を掲載した全国大会の『報告要旨集』をお送りします。

(2011年9月下旬には『経済教育』第30号をお送りします。※学会当日には配布致しません。)

報告をご希望の方は…

<報告応募要項> 締切:2011年6月30日(木)までにお送り下さい。(必着)

応募方法:経済教育学会のホームページ <http://www.soc.nii.ac.jp/ecoedu/> から下記の必要事項を入力してください。

[必要事項] 報告者氏名・所属(複数の場合は全員)、連絡先(代表者のみ、郵便番号、住所、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレス、携帯電話等の緊急連絡先)、希望する分科会名、報告論題、報告要旨(300字程度)

<分科会での報告の採否>

8月1日(月)までにプログラムを電子メールにてご連絡します。報告申し込みが多い場合には、次回の全国大会または春季研究集会でのご報告をお願いする場合があります。報告の申し込みをされたにもかかわらず8月1日(月)までにご連絡がない場合には、CANPAN ACNetまでお問い合わせ下さい。

<報告要旨集の原稿について> 報告を希望される方は、あらかじめ作成しておいて下さい。

報告要旨集の原稿(40字×35行、2ページ以内)を作成し、電子メールの添付ファイルにて、8月8日(月)までに CANPAN ACNet ac070-jsee@canpan.org までお送り下さい。

・様式は経済教育学会のホームページよりダウンロードできます。 ・2ページには図表を含みます。
・そのまま印刷しますので、レイアウトに合わせて作成して下さい。 ・ページ番号、ヘッダー、フッター等はいれなくて下さい。

<ご注意>本学会で学会報告を希望される場合には、年会費を納入して下さい。新規入会される場合には、報告申込時に年会費5,000円(会員の種類により異なります)を納入して下さい。

参加をご希望の方(会員)は…

<参加申込> 締切:2011年9月15日(木)までにお送り下さい。(必着)

申込方法:経済教育学会のホームページ <http://www.soc.nii.ac.jp/ecoedu/> から下記の必要事項を入力してください。受付は8月1日(月)から行います。

[必要事項] 参加者氏名・所属、連絡先(郵便番号、住所、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレス)、昼食の要・不要、エクスカーション・懇親会の出席・欠席、参加希望の分科会名

参加をご希望の方(会員以外)は…

<参加方法> 全国大会は一般の方にもご参加頂けます。費用は無料で、事前申し込みは不要です。ご興味のある方にはお教え頂き、ご参加頂けますよう、よろしくお願い致します。(ご参加頂いてご入会をご希望される方は会場にてお申し出ください。)

全国大会への〈報告のご希望〉ならびに〈参加の申し込み〉についてのお願い

電子メールやファックス、郵送も受け付けますが、可能な限りホームページの利用にご協力頂けますよう、お願い致します。電子メール、ファックス、郵送の場合には、前記の必要事項をご記入の上（任意の様式で結構です）、**特定非営利活動法人 CANPAN センター ACNet 宛**に送付してください。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-15-16 海洋船舶ビル 8 階 特定非営利活動法人 CANPAN センター ACNet
TEL 03-5251-3967 FAX 03-3504-3909 電子メール ac070-jsee@canpan.org

経済教育 情報クリップ

新刊情報

- 『1からの経済学』 中谷武・中村保編著、
発行・碩学舎、発売・中央経済社、2,400円（税別）



本書は、経済や経済学の知識をやさしく解説したのものではない。経済を理解するための見方、考え方を丁寧に説いたものである。序章に続き、ミクロ経済学の部が7章、マクロ経済学の部が7章を15人の著者が執筆している。いずれの章も現実のデータ、事例から始まり、それを経済学ではどのように考えるのかを平明に述べている。随所に現場写真が掲載され、生きた経済が見える。高校生にも十分理解でき、大学1年生向けの経済学入門書として類を見ない好書である。（推薦者 富山大学 新里泰孝）

- 『職業教育と商業高校 ～新制高等学校における商業科の変遷と商業教育の変容～』



番場博之 著
大月書店、3,570円（税込）

戦後の高等学校における商業教育の変遷を、産業構造や就業構造の変化およびそれとの関係での教育政策の変化を切り口に検討する。そのうえで、現在の商業教育および商業高校の存立状況を、教育改革・学校を通して行われてきた就職斡旋などといった視点から分析し、今後の商業教育と商業高校の課題と方向性を探る。

東日本大震災により被災された方に
心よりお見舞い申し上げますと共に
亡くなられた方に衷心よりお悔やみ申し上げます

未曾有の深刻な事態の中で、経済教育学会としまして貢献できることを模索していきたいと考えております。会員の中でも被災された方もおられることと存じます。どうか皆様ご自愛頂きたく存じます。

《会費納入のお願い》

2011年度の年会費をまだお支払い頂いていない方、過去に未納のある方につきましては、納入のご依頼をお送りさせて頂いております。郵便局（ゆうちょ銀行）にて下記の振替口座に年会費（学生等の条件により金額は異なります）をお振込み下さい。

口座番号：00920-3-252875	口座名義：経済教育学会
年会費：正会員	5,000円
学生会員（大学院生を含む）	2,000円
65歳以上の会員	2,500円

（本人の申請により会費を半額とさせて頂いております。）

払込用紙の通信欄に「生年月日・年齢」をご記入下さい。）

・会計年度がこれまでの「9月から8月まで」から、「4月から3月まで」に変更となりました。2011年度は経過措置のため、「2010年9月1日から2012年3月31日まで」の会費として、上記の金額をご請求させて頂いております。

・経済教育学会は日本学術会議協力学術研究団体（詳細は<http://www.scj.go.jp/ja/group/dantai/index.html>）です。学会費は所属先の校費にてお支払い頂ける場合があります。

「経済教育学会メールマガジン」

登録のお願い

経済教育学会では、学会に関する情報（全国大会の案内等）を提供するためのメールマガジンを発信しております。現在は会員情報にメールアドレスが登録されている方を対象にしておりますが、配信をご希望される方はac070-jsee@canpan.orgまでご氏名と送信希望のメールアドレスをご連絡下さい。

情報募集

「リレーエッセイ」、「恩師の群像」の原稿を募集しています。また、「経済教育情報クリップ」では、経済教育に関するイベントや新刊などの情報を随時紹介していきます。特に会員発の情報を募集しております。下記メール宛にお送りください。情報は、birubiru@jasmine.ocn.ne.jp あんびるまで。

<編集後記>

東日本大震災により被災された方に心よりお見舞い申し上げます。東京も、体験したことのない大きな揺れを感じました。自宅前の不忍通りを、帰宅のために多くの人が夜通し歩かれているのを見て、未曾有の大災害を感じました。震災後の経済教育は、どのように変わっていくのでしょうか。少なくとも以前と同じことを、東北の子どもたちに話すことはできません。まだ、私の話を聞いてくれた子どもたちの安否もわからない状態です。（あんびる）

経済教育学会 ニュースレター 第15号

2011年4月20日発行

発行人 経済教育学会 会長 中谷武雄

編集人 あんびるえつこ 松本朗

発行所 〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1

愛知教育大学 水野英雄研究室

TEL・FAX 0566-26-2507（直通）

電子メール hmizuno@aecc.aichi-edu.ac.jp

発送元 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16

海洋船舶ビル8階

特定非営利活動法人CANPANセンター ACNet

TEL 03-5251-3967 FAX 03-3504-3909

電子メール ac070-jsee@canpan.org

学会費送金先 ゆうちょ銀行 振替口座番号 00920-3-252875

印刷所 西濃印刷株式会社 TEL 052-524-5611